

東商けいきょう集計結果

(中小企業の景況感に関する調査)

平成25年4～6月期

～東京の景況は引き続き改善、先行き期待感は更に高まる～

○「業況DI」(全業種)は、前回調査に比べ+4.7ポイント(前年同期比▲15.9→▲11.2)改善し、特に回復の遅れていた小売業が+28.5ポイント(▲39.0→▲10.5)と大幅に改善した。

来期見通しは、前回調査に比べ+6.6ポイント(前年同期比▲8.0→▲1.4)改善し、小売業は+18.7ポイント(前年同期比▲26.0→▲7.3)とマイナス幅が縮小している。

○「売上DI」(全業種)は、+5.8ポイント(前年同期比▲15.3→▲9.5)改善し、業種別にみると、小売業(+24.5ポイント)や卸売業(+12.3ポイント)の改善幅が大きい。

○「採算DI」(全業種)は、+3.6ポイント(前年同期比▲19.8→▲16.2)改善した。今期水準は、前回調査に比べ+2.1ポイント(6.8→8.9)と5期連続で黒字超となり、黒字幅が拡大した。

○「資金繰りDI」(全業種)は、+3.7ポイント(前年同期比▲12.1→▲8.4)改善した。

【調査要領】

○調査期間：平成25年5月24日～5月31日

○調査対象：東京23区内の中小企業2385社

○調査項目：業況、売上、採算(経常利益)、資金繰り、民間金融機関の貸出姿勢

○調査方法：FAXおよび経営指導員による聴き取り

○回答数：1028社(回答率43.1%)

<業種構成>・製造業262社(25.5%)・建設業121社(11.8%)・卸売業160社(15.6%)・小売業124社(12.1%)・サービス業361社(35.1%)

※ 本集計結果におけるDI値とは、「好転」「良い」「増加」「好調」「黒字」「緩和」「緩い」とする企業の割合から、「悪化」「悪い」「減少」「不調」「赤字」「厳しい」とする企業の割合を差し引いた値を表す。

※ 全ての質問について、割合は四捨五入を行っているため、必ずしも合計が100.0%にならない。

※ 本調査結果の集計にあたっては、独立行政法人中小企業基盤整備機構が実施している「中小企業景況調査」の調査結果を一部活用している。

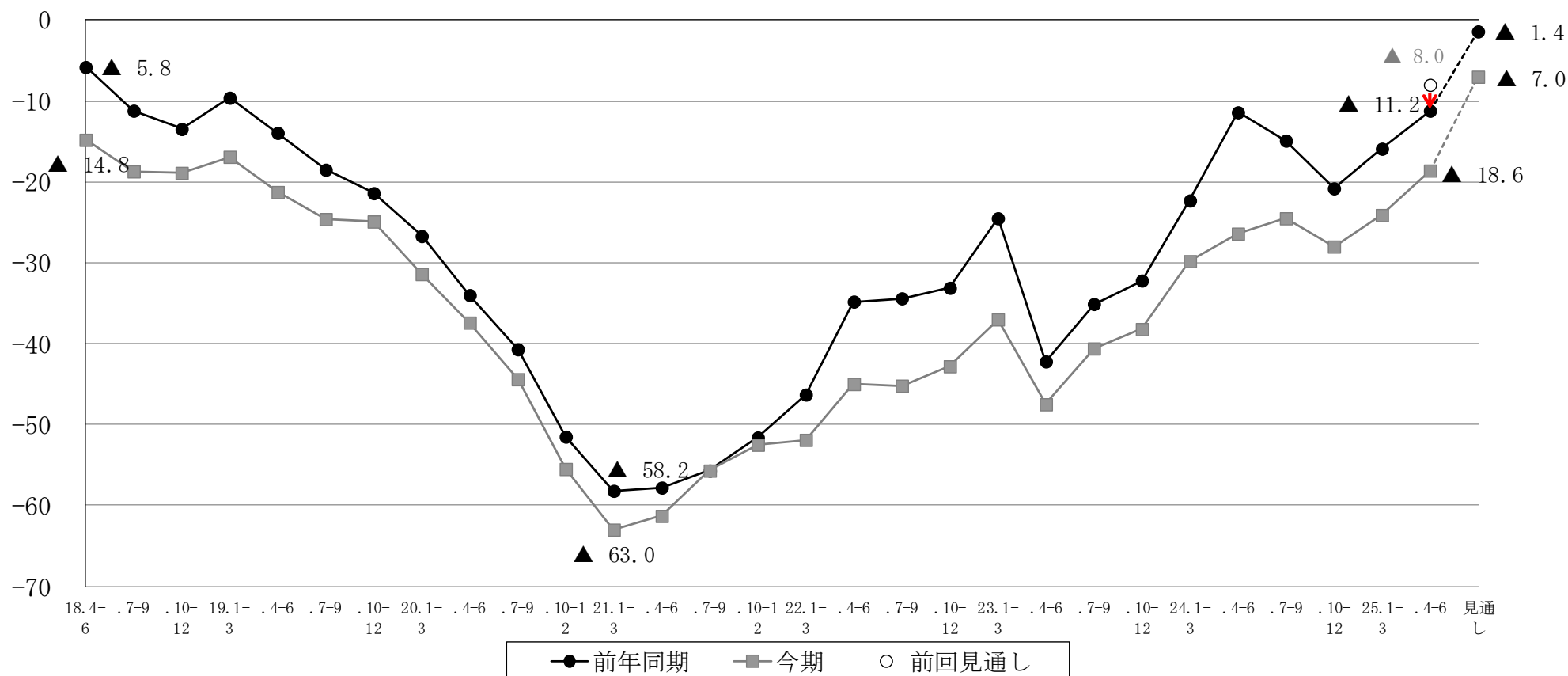
1. 業況

○「業況DI」（全業種）は、前回調査に比べ+4.7ポイント（前年同期比▲15.9→▲11.2）改善し、特に回復の遅れていた小売業が+28.5ポイント（▲39.0→▲10.5）と大幅に改善した。

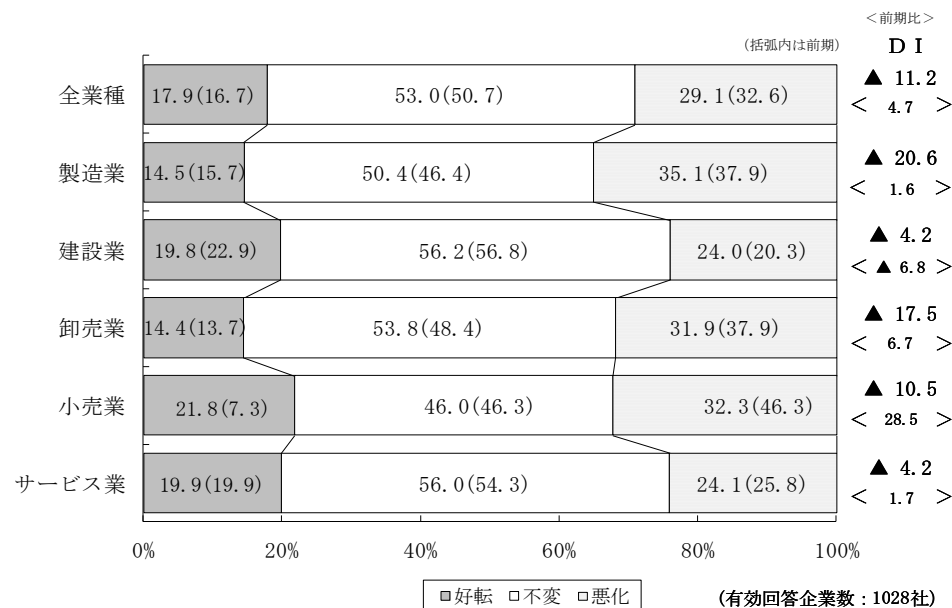
来期見通しは、前回調査に比べ+6.6ポイント（前年同期比▲8.0→▲1.4）改善し、小売業は+18.7ポイント（前年同期比▲26.0→▲7.3）とマイナス幅が縮小している。

【企業の声】消費者が商品の値上がりを予想して早めにお買い上げと行動している。先行き不安感がかなり払拭された感じがある。（宝飾品小売）
景気見通しの好転もあり、イベント（パーティ、セレモニー）が増えている。（イベント会場の設営）

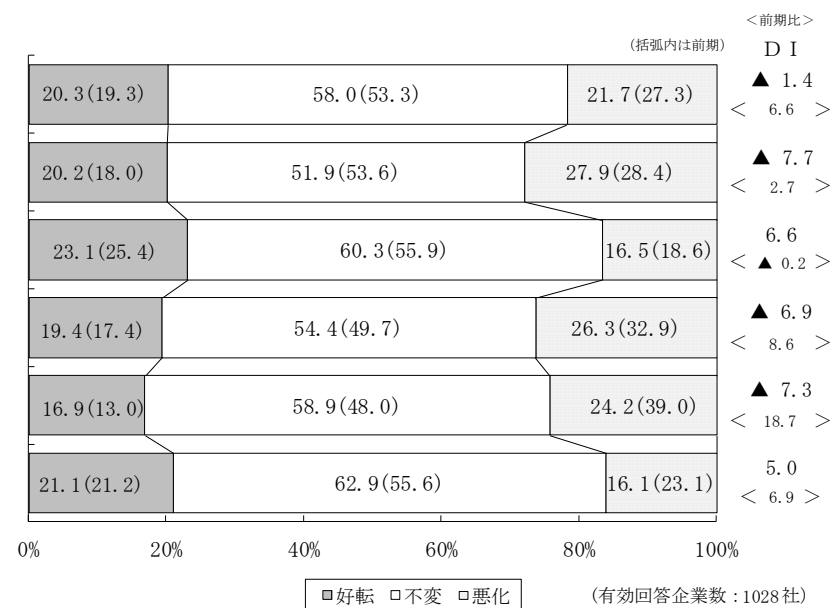
業況DIの推移（全業種）



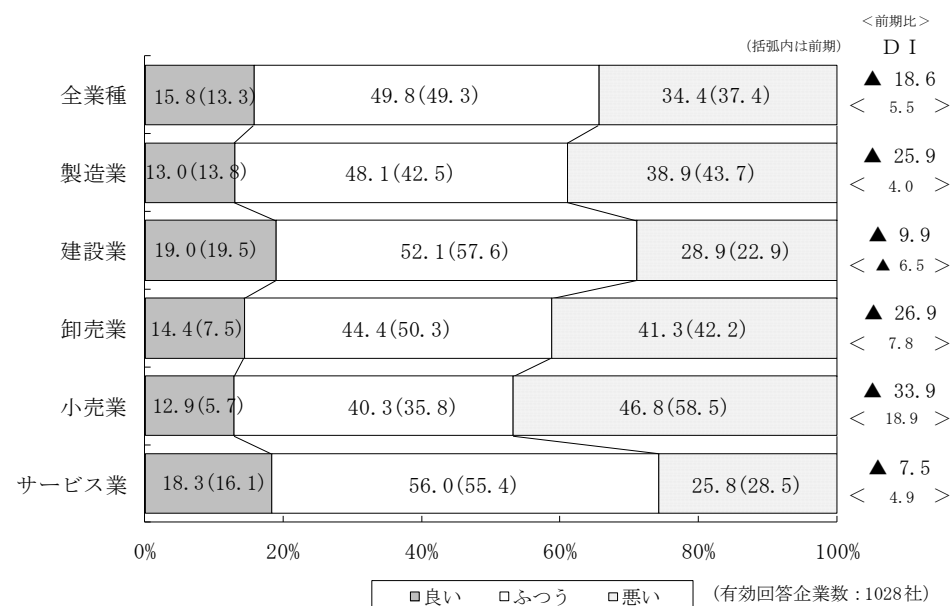
①今期の業況（前年同期比）



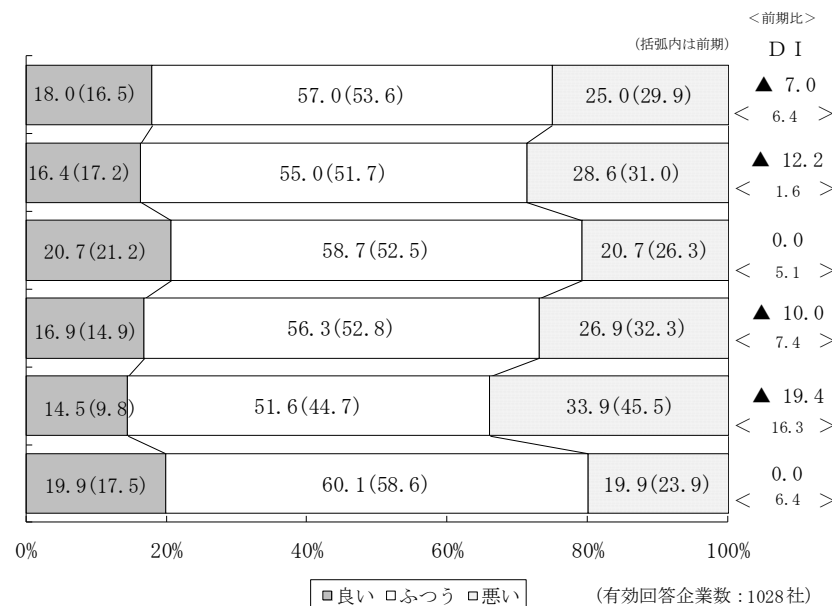
②来期の業況の見通し（前年同期比）



③今期の業況（水準）



④来期の業況の見通し（水準）



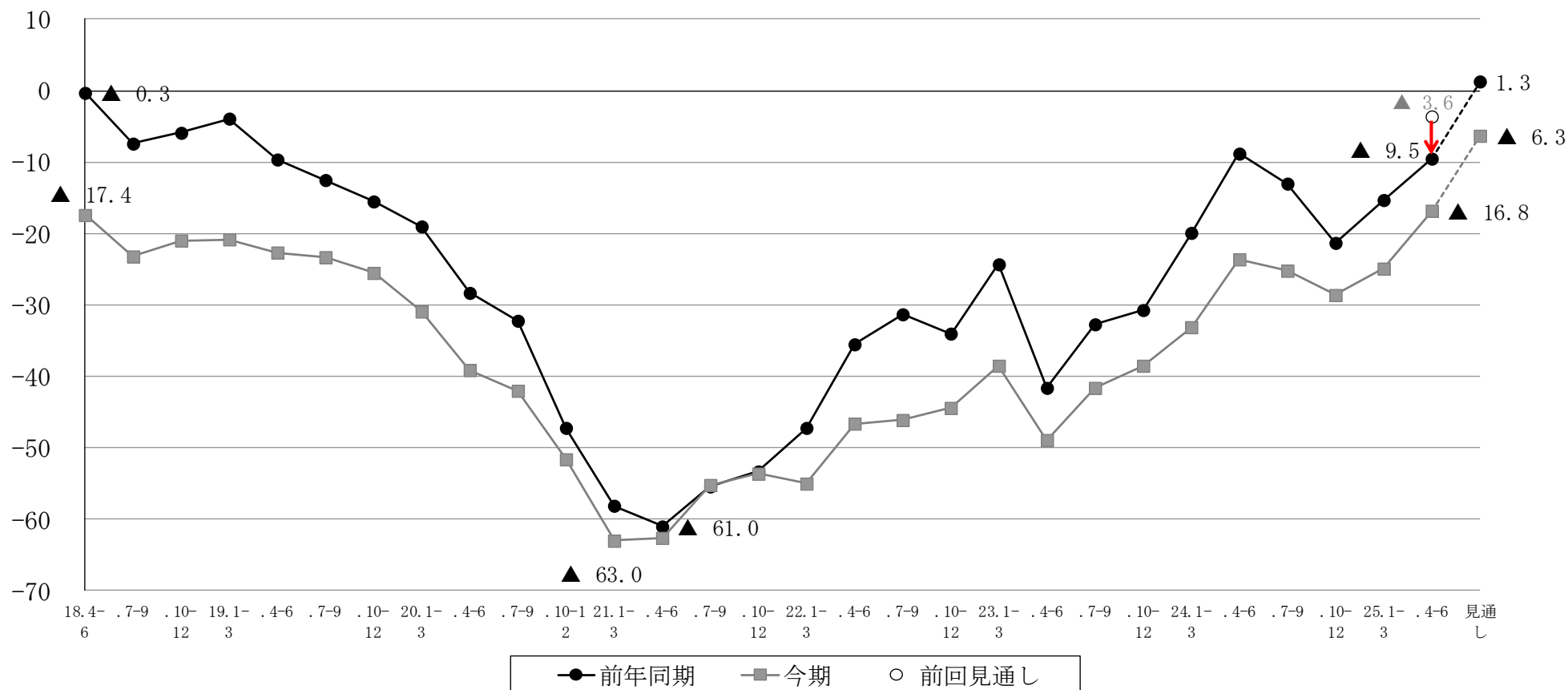
2. 売上

○「売上DI」(全業種)は、+5.8ポイント(前年同期比▲15.3→▲9.5)改善し、業種別にみると、小売業(+24.5ポイント)や卸売業(+12.3ポイント)の改善幅が大きい。

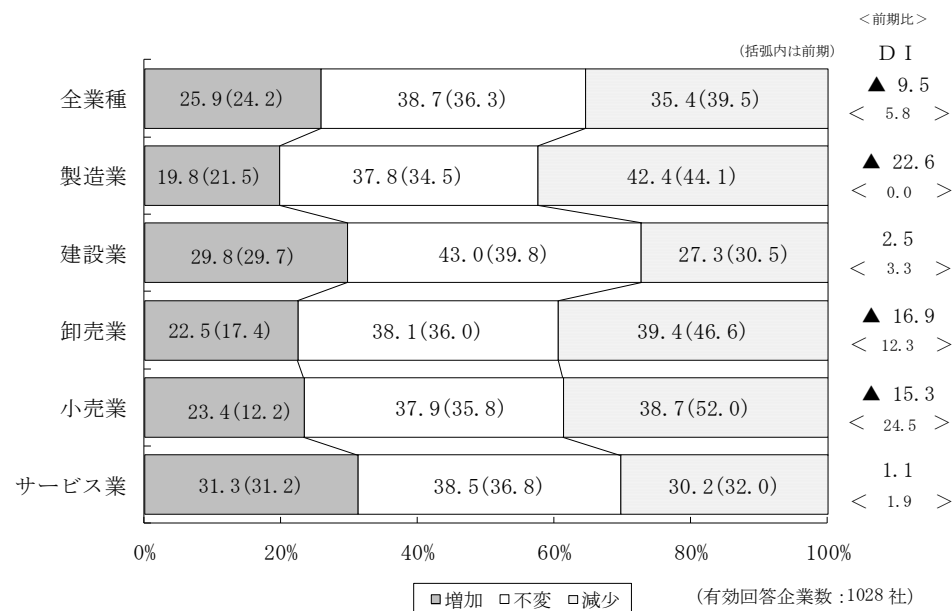
【企業の声】 輸入商品の値上りで原料の仕入れはきびしい状況だが、アベノミクス効果で景気が良くなり、宴会、パーティー等による需要が増えた。
(食肉卸)

当店の強みであるワインは年々伸びており、ワインのお客様は増加したものの全体的にみれば客数は減少傾向。インターネット販売が伸びつつある。消費者の購売行動が大きく変わっていることを実感している。(和洋酒小売)

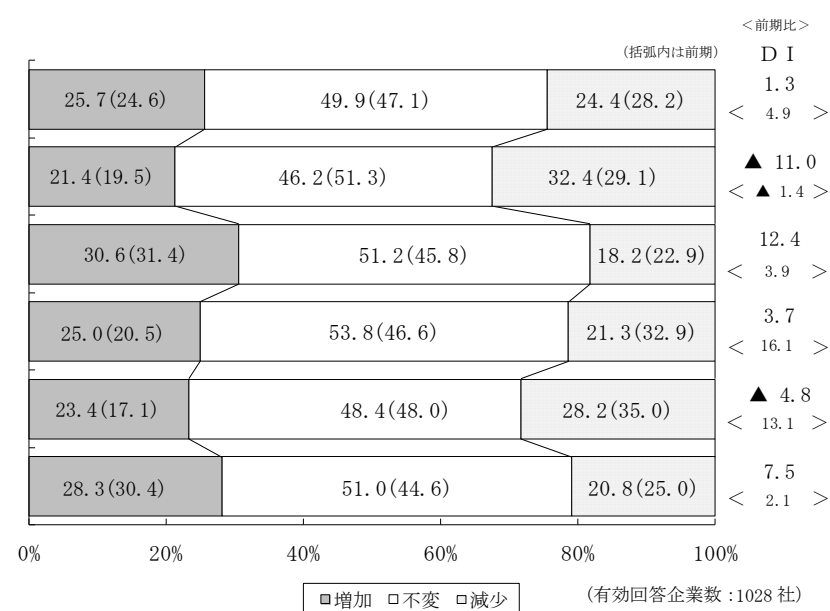
売上D I の推移 (全業種)



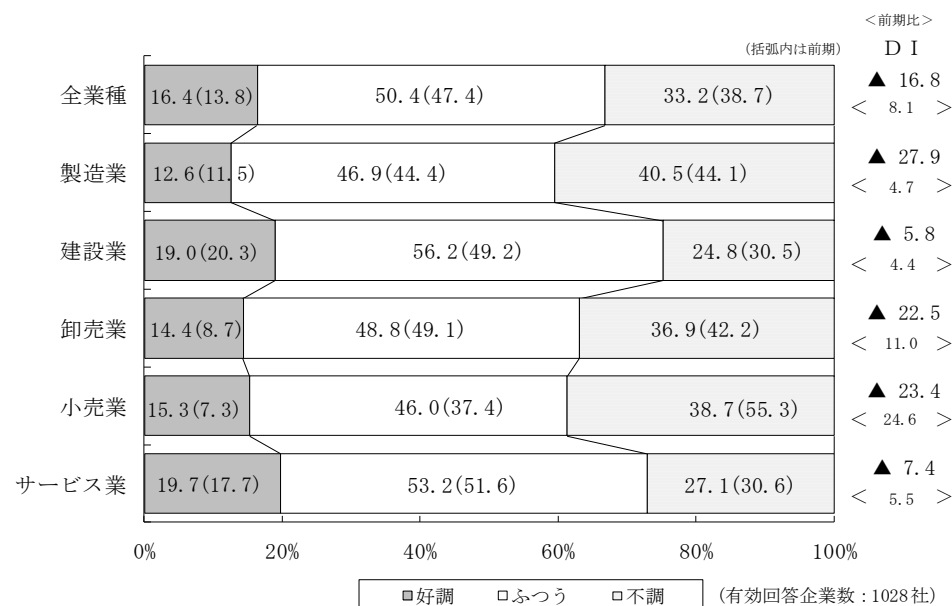
①今期の売上（前年同期比）



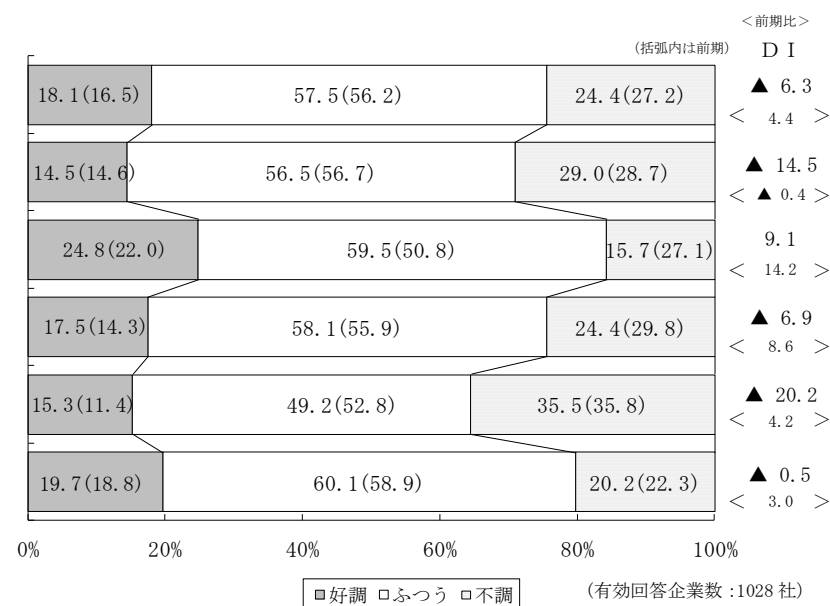
②来期の売上の見通し（前年同期比）



③今期の売上（水準）



④来期の売上の見通し（水準）

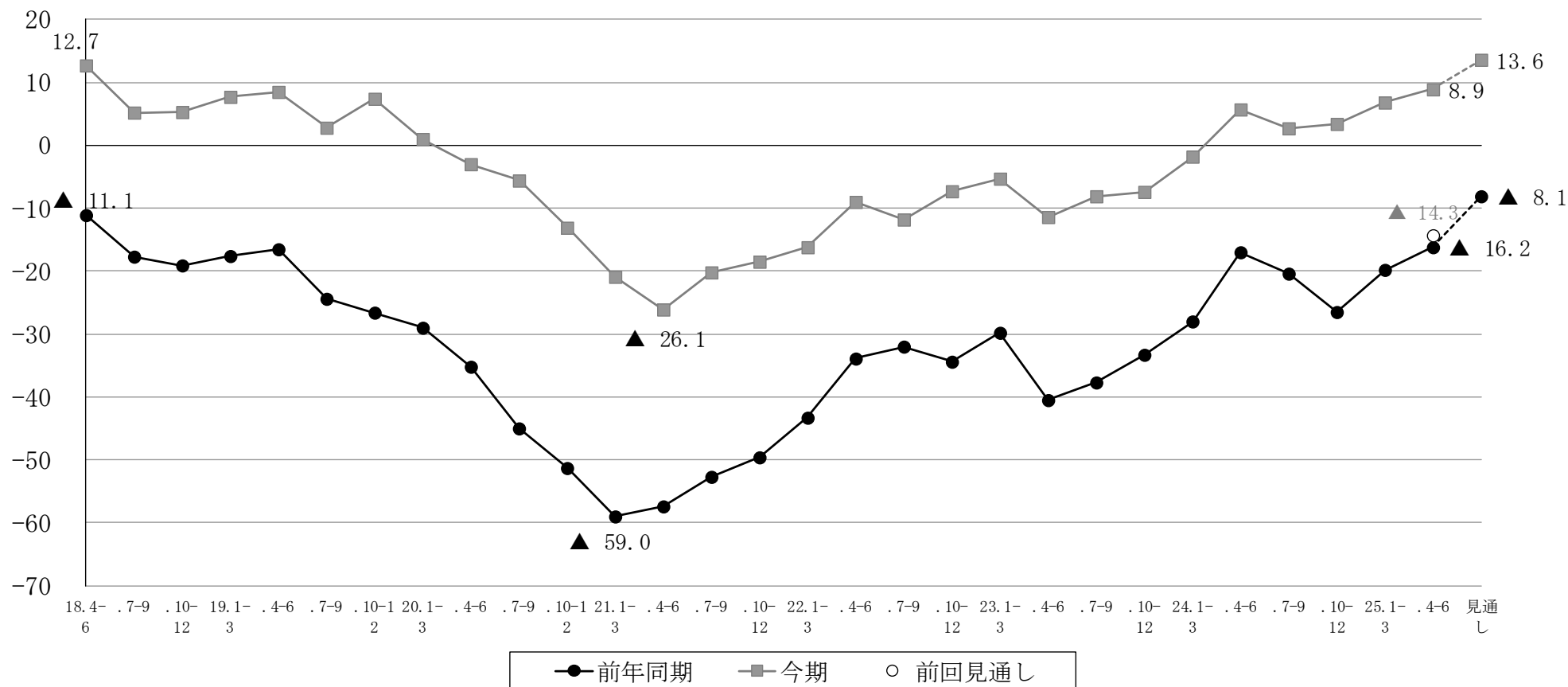


3. 採算（経常利益）

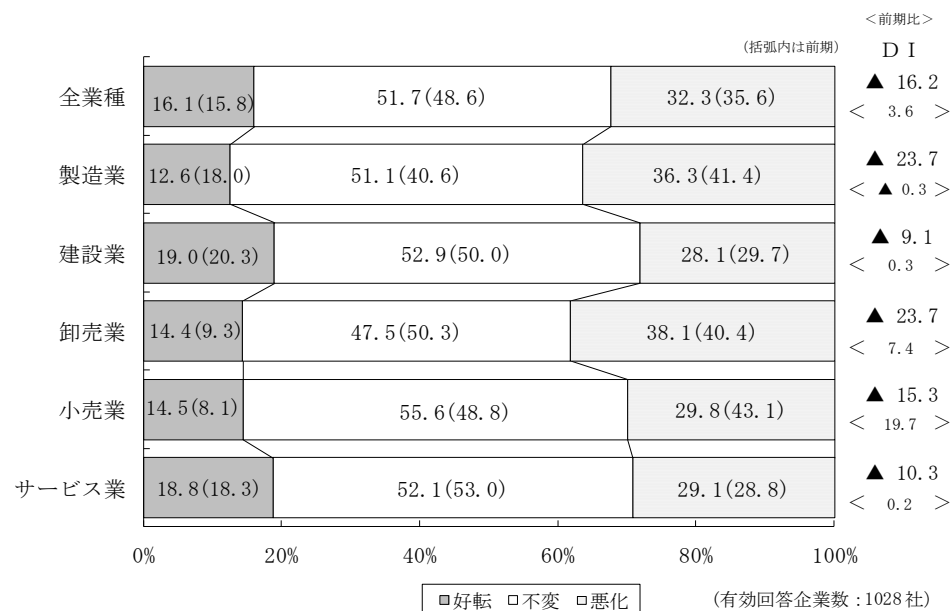
○「採算 DI」（全業種）は、+3.6ポイント（前年同期比▲19.8→▲16.2）改善した。今期水準は、前回調査に比べ+2.1ポイント（6.8→8.9）と5期連続で黒字超となり、黒字幅が拡大した。

【企業の声】 昨年10月頃から客数減も今春より徐々に客足も回復傾向。ネット販売もコンスタントに有り、悪いながらも黒字を確保。（服飾小売）
引合いも多く少し明るい兆しを感じるが、昨年秋頃から原材料が値上がり、今後の不安材料である。（ダクト製作・取付け工事）

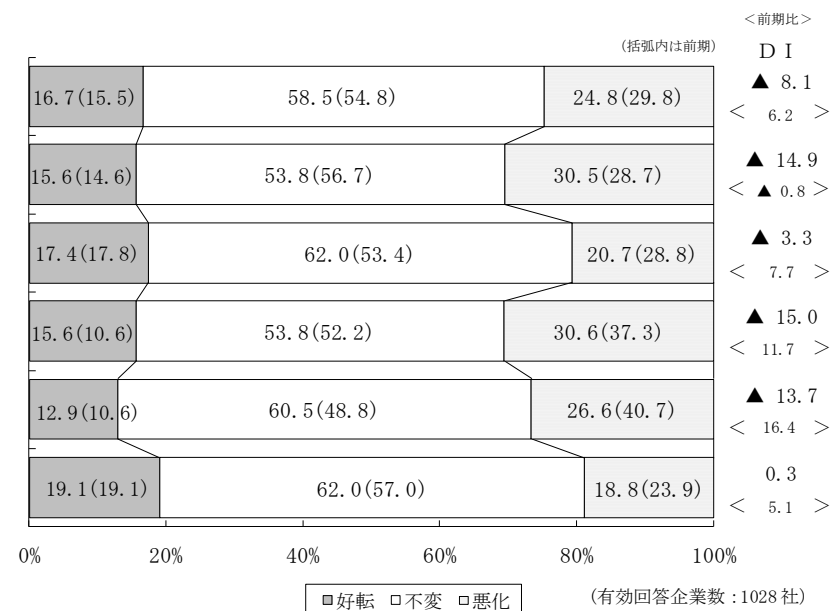
採算DIの推移（全業種）



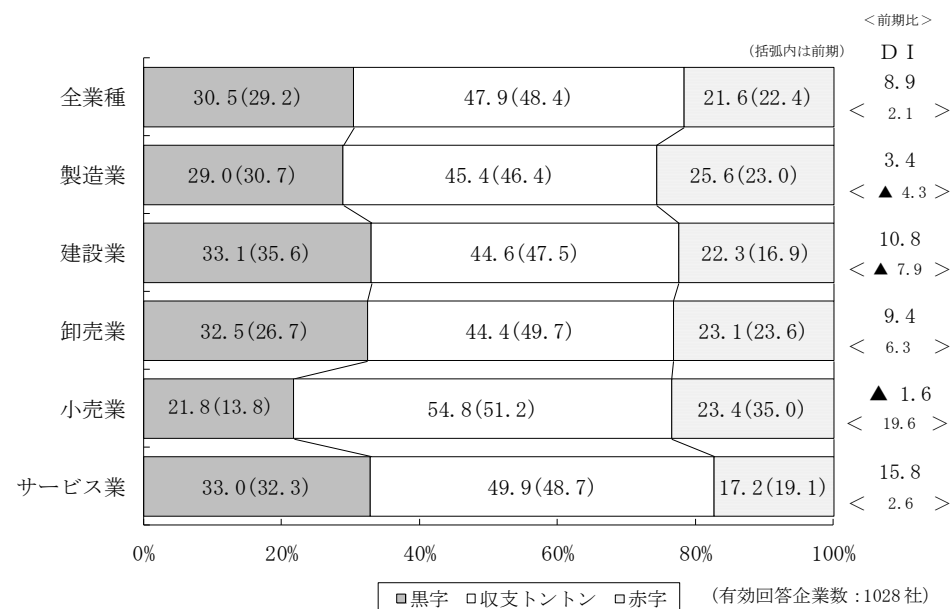
①今期の採算（前年同期比）



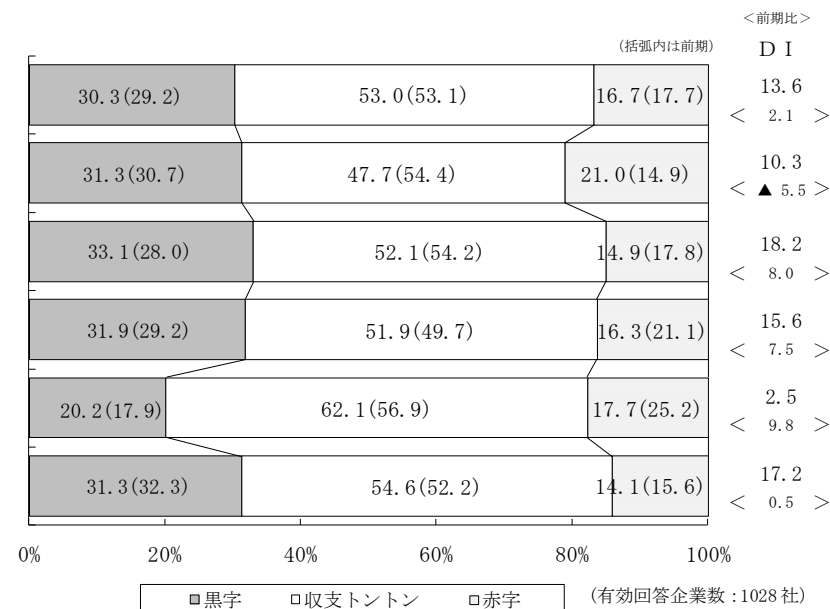
②来期の採算の見通し（前年同期比）



③今期の採算（水準）



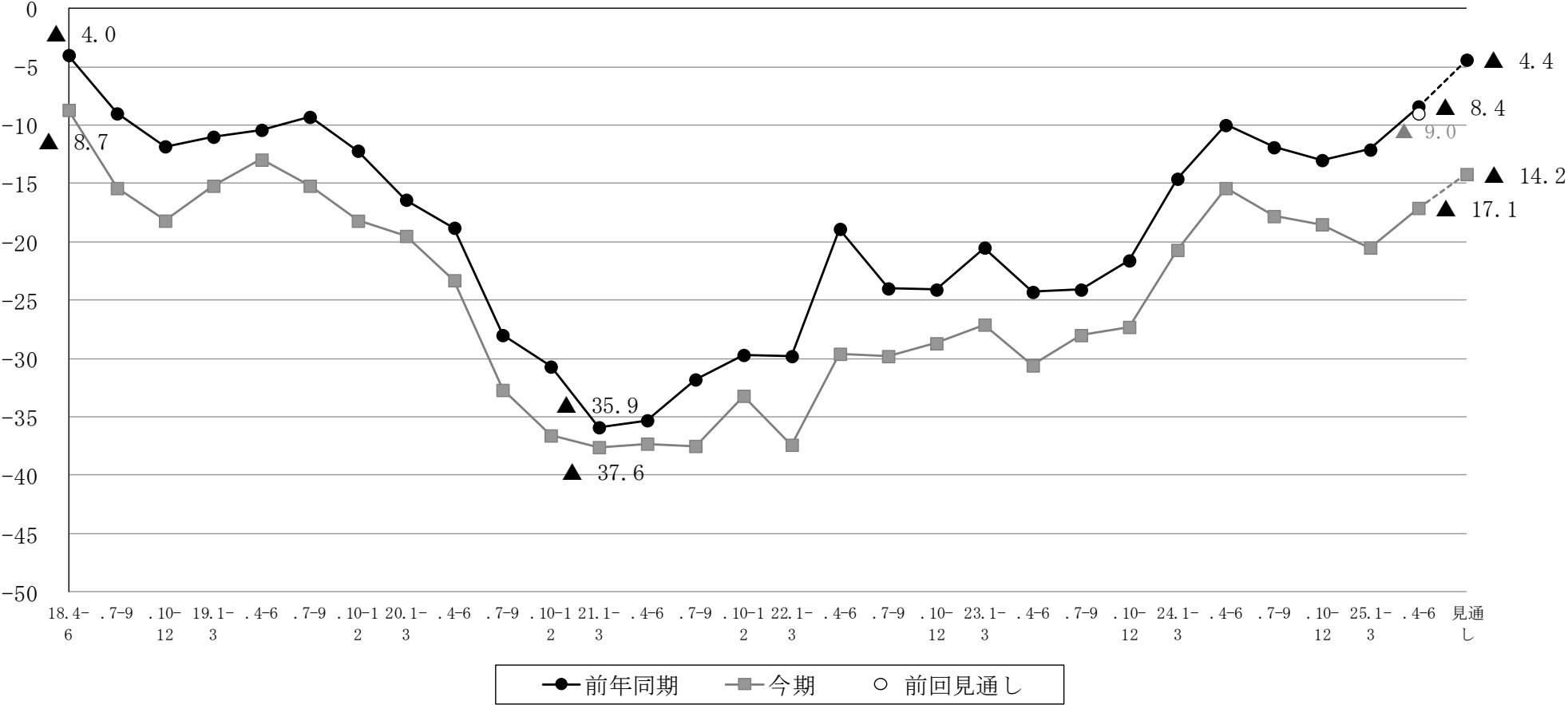
④来期の採算の見通し（水準）



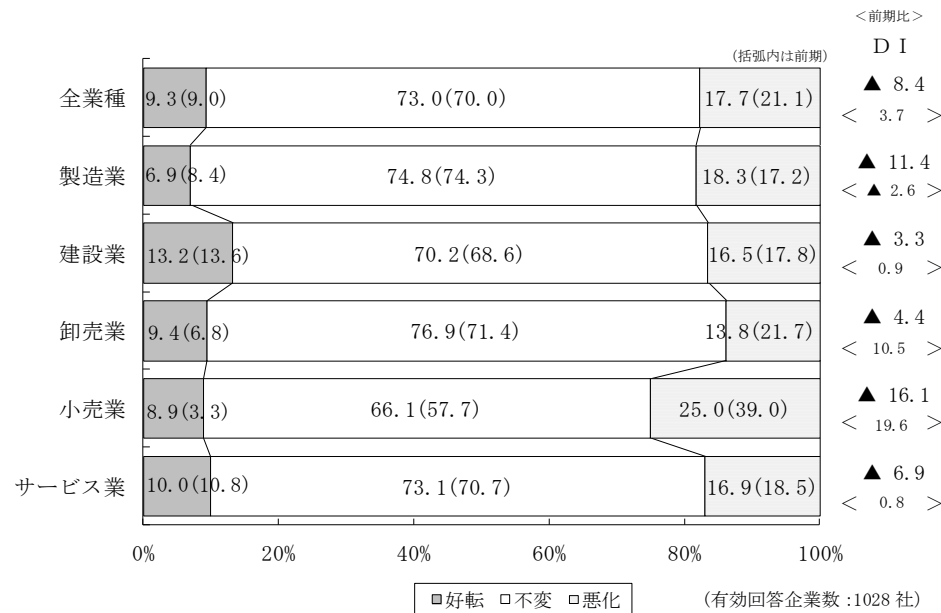
4. 資金繰り

○「資金繰りDI」(全業種)は、+3.7ポイント(前年同期比▲12.1→▲8.4)改善した。

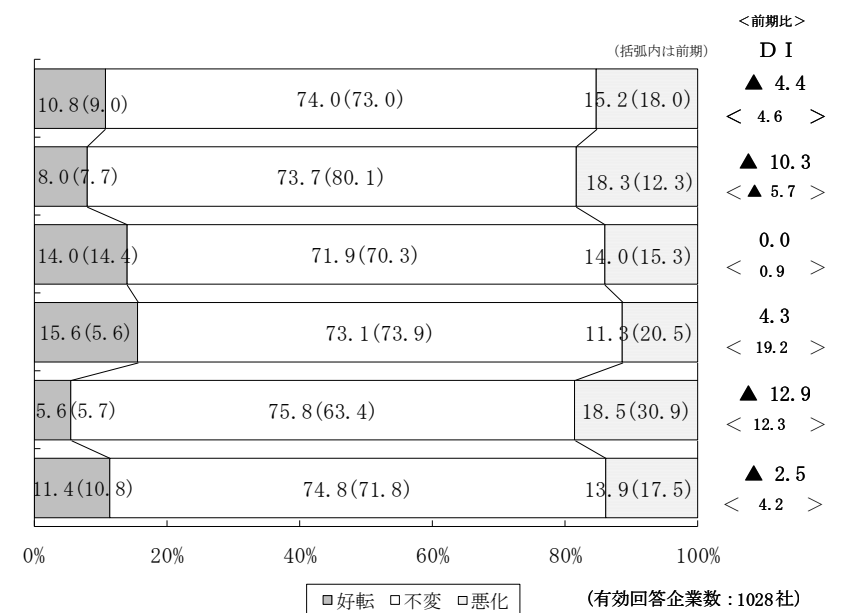
資金繰りDIの推移(全業種)



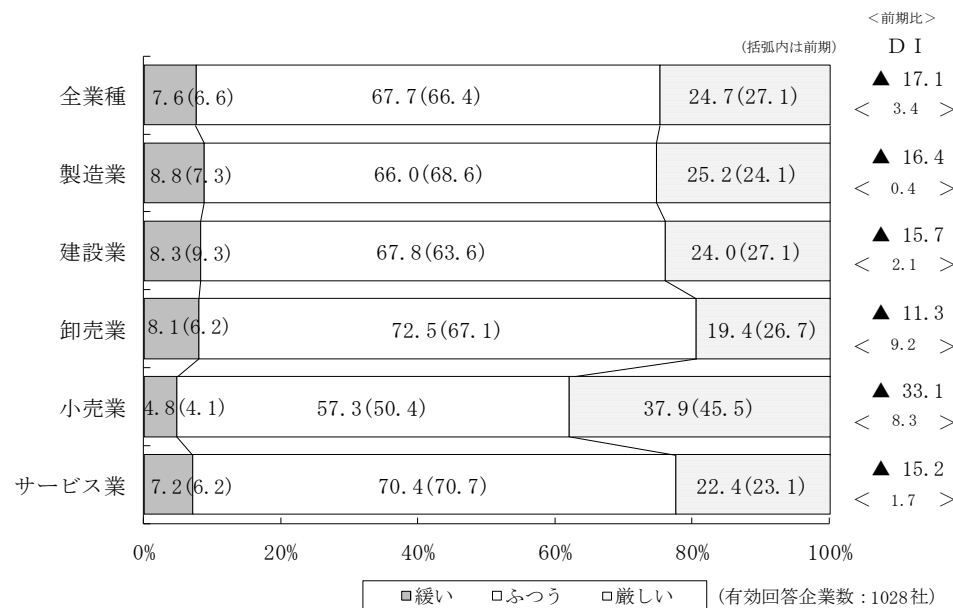
①今期の資金繰り（前年同期比）



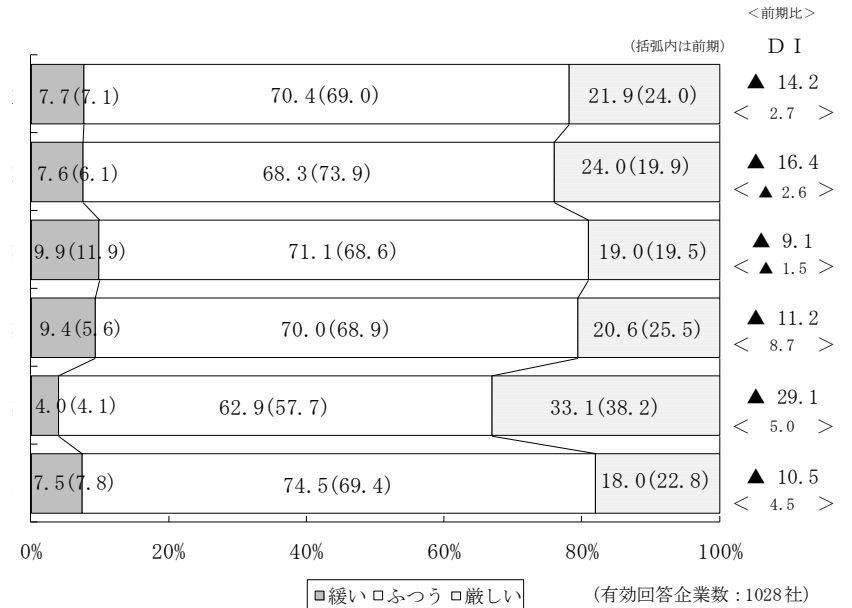
②来期の資金繰りの見通し（前年同期比）



③今期の資金繰り（水準）

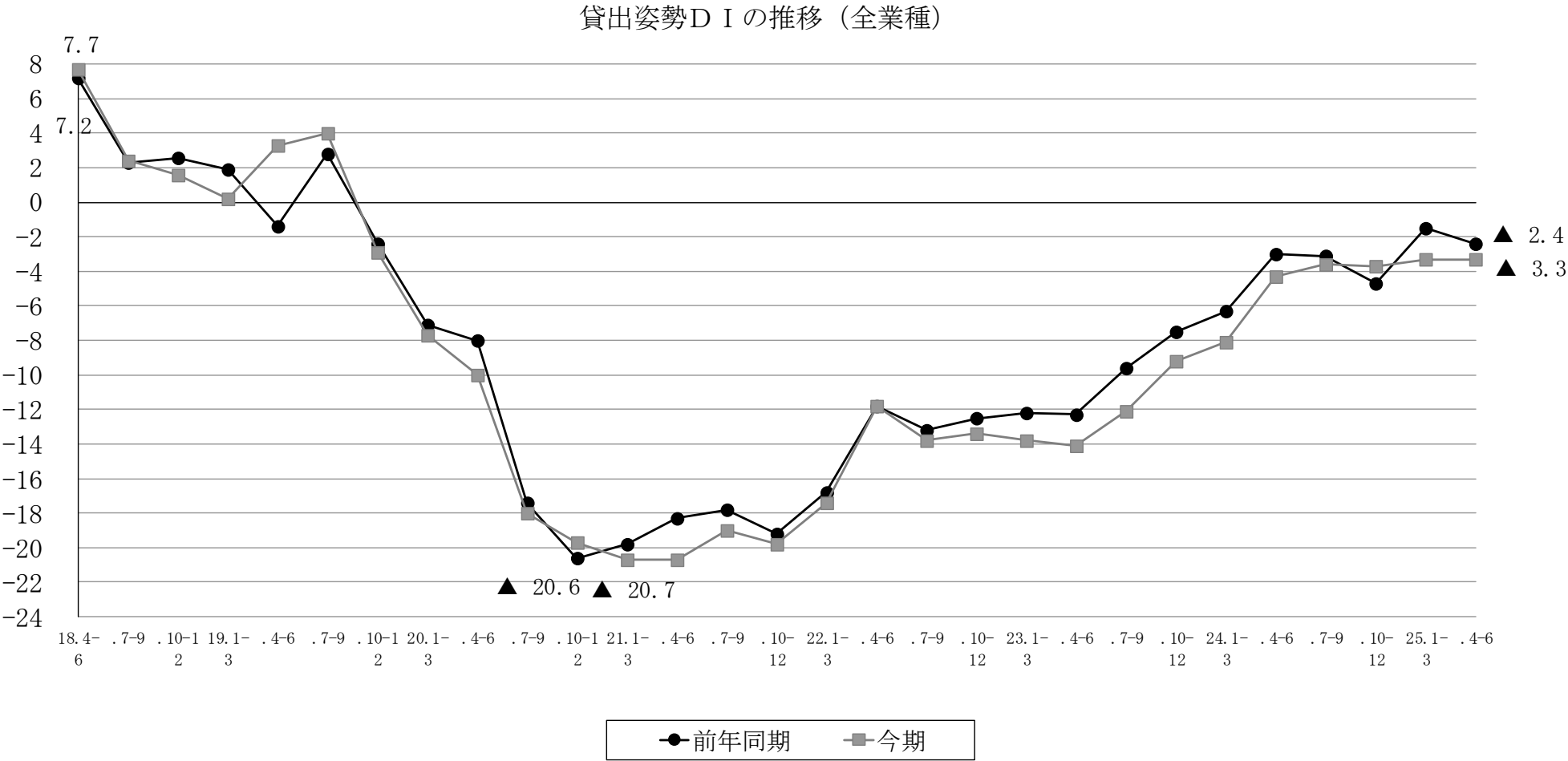


④来期の資金繰りの見通し（水準）

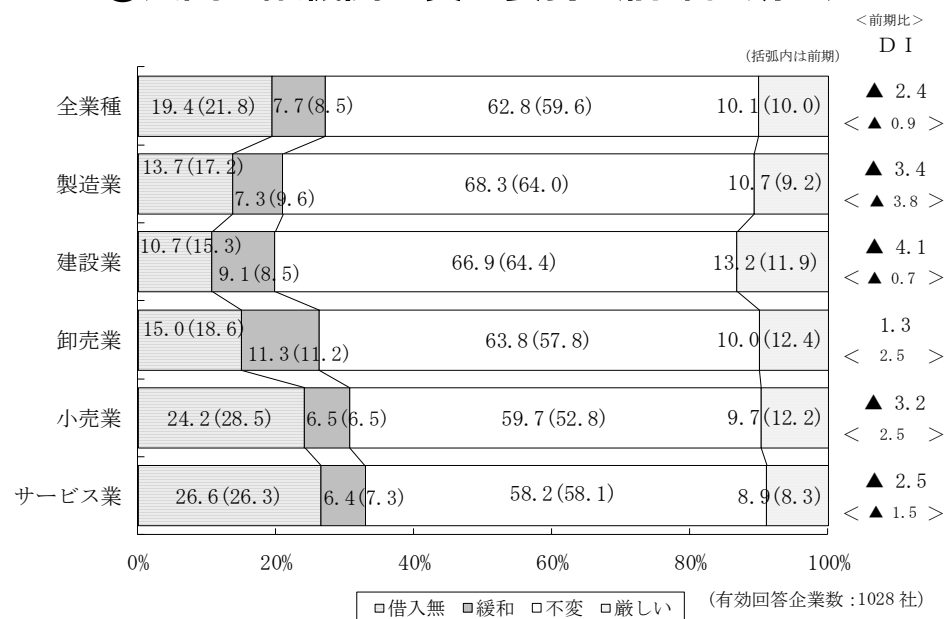


5. 民間金融機関の貸出姿勢

○「民間金融機関の貸出姿勢DI」（全業種）は、前年同期比、今期水準ともに横ばいとなった。



①民間金融機関の貸出姿勢（前年同期比）



②民間金融機関の貸出姿勢（今期水準）

